

7 8 9 80 1 2 3 4 5 6 7 8 9 90 1 2 3 4 5 6 7 8 9 100 1 2 3 4 5 6 7



諸藩藏版書目筆記



加  
769  
卷1-4



諸藩藏板書目筆記凡例

斯書ハ昨年の秋七月諸藩藏板の墨河。一  
トテ經文子集の内何う也。一ト可否と尋  
因あリ。—藩常流四家あり。僅これ。若々上四  
庫のうち學者は裨益ともす。雕刻も便利。  
あつつき品種經を康熙の四經乾隆の三經史  
ハ南北史隋書等と云ふ。我土ふらり  
まづ小翻刻もすきものかくも佳形。物找  
考覈下してそく題とす。一冊冊とし。かくも  
我土より唐山の如く旧種の墨河二板も三板も



あつて彼をもとより海内流傳し數多ふ。奎  
殿ある。すれに書の上に著す。諸家にてそぞく  
雕刻ある。ものハ壁へ枝正等精核小形そ  
もぞれいき。重復のなき。小形そ  
間要ふ所。むとむと。諸薦小形核ある。  
その精華能く。活て一小冊も。出小二冊。  
てまことに。活一二の子分三四の友人寫拂  
一時。舍車の墨能遠遍。一流傳一人勧教之  
と。用。小首尾戒刪補。四卷。奎家  
塾小雕刻也。

一 斯書舊々數日計慮。故て。搜索訪求する。  
計り。日既く。せの經生文人。示す。意  
ち。諸信士。古文。うふ。漢書。小經事。も。人  
計り。易。事。と。一。計。と。計。と。此  
の部。跡。と。僕。意。志。と。通す。よ  
り。

一 唐表元和の比。寛文延宝の間。て。活字板  
ふ。下。儒書医書と刷。一。二。大。小。津  
軒家。す。山鹿素。著述。雕刻。ある。  
す。今。の藏板。す。高崎赤松の名。印。

元禄のとくに柳澤家より書已下は立文  
雕刻ありて成す頃も神田の藏板とせん唱元  
細井廣深と深川佐藤草小路よりて安  
らはれは折御家の郎が神田廣きもれハ坊刻小  
あささりのハ皆らも成計して名薄の文太  
儒教と重い文士が歌たりて一概とせりふ  
ありしむの

藏板の名目は水府彰考館より編脩ありて新  
編録全志参考元平治物語より其の後此  
先鞭たる一書真言元禄の中山行是西桂亭

保小路にてハ赤板の唱へ比へて新  
めどよりて前紀有て那波道内と明備源  
永田善高と贈餘難錦と雕刻にて京師の書肆  
へ貯めて収蔵ありて例多くて藏板の名目  
にすれども右板の萬の其費より上本出来  
て後より板本と書肆へ下されたりとせ間  
一板の内書形よりてすほよハ板本書肆の  
事とすとすと見ゆるハ薄くて出来たりとの  
事とすとすと

一原稿ハ僅小本板小豆子の將小豆利の僧三要

長老の活字の真觀政要と云ふ。享保  
中活字の古刻あり。活字の直下尾附は  
倫常藏板の目次なり。寛政中ももて數多  
の古刻があり。その代新小首小鉢にて是後重  
複版より出放を既に舊編より玉門之、經傳教  
詞と葉含翻刻あり。小吏士より手書き不取  
り。或は出放刻と云私相用たり。小紙は  
一寸半の紙土も一枚小一寸鈎あらそとある。別の  
種々刻あり。

一 新書聞見小字にて草字れども悉く依頼する

新字とされ得るものもあらず。されど  
者人等のうち所頗る多く信義堂板の  
新字と成る。それとも一二もす舊士の舊板  
小字のうちの多くは諸薦の数と書ふ。あくまでも其  
餘の香條の下へ出され。別ふ及ばず。

諸藩藏板書目華記卷之一

信濃 東條耕子藏著

門人 佐藤養君正校

大探避字退翁播磨人  
昌年志立矣 宣政甲寅教官  
日游錄二卷 莫義序  
圓融在刻而板始于革長  
甲寅刻大藏一函是復道要  
等吉 又有治生相板之福光  
見于駿河日光之福光  
年土月直刻四書直解直注  
日光福光及伊勢山王詩園  
寛永悟上二季各一部

我亦少々武家の世へ移りて 儒教の書籍と雕  
刻を——ハ中世以降の事ふ——南北朝の——  
和象國課浦量坂西士と何晏と論語集解の正  
平本が始まる——此——て周易の大内義弘  
射弓元板の陳彰年、重修廣韻と雕刻——會  
津上杉家の老臣直江兼続り史記禪林類聚文  
選抄の三書と治生相小部と——此——今も存

世の経つてす余りともあらずまづ小皆悉く散  
逸してゆく。その坂井士の正平本高時  
山あらじは廬山へも播磨をもとよりて経流と  
舊り傳云故求能小言便と出でては書と鑄い残  
す。其の年号と能とまきをさうに西平と號す。正平と  
士室新今工鑄梓四年甲辰五月吉日謹誌と  
正平の甲辰八十九年。此は北朝の貞治之年ハ小字法  
工鑄梓もあひハ至已前考鑄稱後の世小字  
姫津光庭羅尾經と雕刻ちよて字と。也小字も  
蓋傳もよけ且とも多く佛書の形又山の時も  
形刻。翁良甫かよとのあひて韓柳文の叢經と  
本

と雕刻を一服と與る多々是ともに仁文院  
札と之にて多く散してある。うぢり好古社  
計人知りせん。其後文福慶長の間小  
東照公駿府小立と。時小祥宗の僧徒下野昌利  
比之要長老小室と。端傳集解孔子家語真詭  
政要武經七書あ試法宗板山と。雕刻と  
麻井良幹書蘿衣供考去因筆板。法板經蘿考  
近藤守重右文放肆書蘿考の二書及び美濃法  
字板目録古板本目録板深老家と。續丁八  
文會業篠小洋此と。始て是へ。續丁八

常憲公文學成好生せりて四書章句集注改熟  
本全中篇本永樂四書大全五經改熙本書經大  
全詩經大全周易程傳書經集傳音注詩經集傳

音注周易本義中庸本章と數種雕刻本が成る  
承く學者の裨益と以て皆之を事共用する  
文昭公より別れて文雅小字と大字と新井君善と  
被識すと多層板十三經二十一史全形とも雕  
刻あらへき所れども不幸かと見一匁い  
てす考證も忠と多くも新の道の遠憾とも  
申す

有德公より西條の儒臣山井鼎り核ふ小字蹟と  
能くもの多くは小字編述とし七經孟子考  
のあと達一章す。文哉是よりて序賣得らむ程矣。侍講店萩

生観経本忠へ寄りて鼎り遺漏たり。補  
一卷組本の文七經孟子考文補達二百卷三十三本  
よりて雕刻本古脚と長崎奉りとて清國へ  
せられし小波出たり。補小字數少なし。其  
後仁宗の嘉慶二年より土の寛政九年小波  
て右は七經孟子考文補達残天子内府より雕  
刻一四套二十四本よりて手稿。破出たり。行  
はり今より外古事記経本七百口傳古文  
考經根本避志。校正。皇侃。論語義疏。彼  
土亦よりて源小散修にて作れり。されど

て歎縣の鮑廷博、知不足齋叢書を收め、  
其土文獻の盛りと海外小説も其多くは  
多く二百年生休明の運と傳えてそれより  
多くはなれども文學小説の益く  
山師ふあつて操航の方と麻モトにて道鼓  
宋モト享保中以降度量衡考六論行義立大  
意立倫名義改正版志令日小刻本蕃薯考普救  
額方古年和刻南方指南編論東医宝鑑小字  
數種古世語古文刻本成モトニテ後ハ左は  
校本洋書肆のものも一下に掲げて世人還

て是の美少成御との形、主張  
而代々直刻小字の故、ひきれども本  
格の有能古文の

時代小生がうゝ世上の儒士文人と唱つるもの  
迄て近き城跡うかうかと暮れ之経盡す  
考文どう一書一學者稀少傳不新後船東  
洋書羅と讀て是のうう哉御とも放し候る  
國酒井端トヒ四庫、四庫ハ四部の經史子集  
又一部小字の本もして蒙求也経と云つて史  
の外とも傳統の歴史とくも蒙求ハ數書  
之廢一世纪小説家も廢して行とも本邦

御土の人小治と曰得一ハ水辭傳酒義之國志  
本内ノ叔ひ事ハ清史劇本ト唱テ四庫志  
深の學費以ヒ量ニ満富也くんハ河子江口  
かくも漢書藝文志ト明史小治ト史部中日  
王亮也、宋文經籍志清の楊士奇、文閣圖書目  
據要黃虞稷、千頃堂書目小治外、郡志清去志、漁接  
諸家著述多々れハ獨て思ひへ、小治ア學會  
山了雕刻也、その有小治、毛細間毛也、小  
官刻小古城也、ハ除毛也、諸藩ハ向  
福坊間書舞也、雕刻也、ものも除毛有用  
什品ト學士必用の種ト得ト割紙也、  
半覽小治、は、由機ひあ、きぢりと附

の諸薦小儒官記室の職小治も、もち振の  
事ハ難學ソレハその上役トは事も、孔孟  
忠義孝仁義の教訓より安用のうすも終モ  
ヘ共儒者顧問待対の用此、ハ舊々治  
國平天下の事業もも跡く且ハ古今の制度時  
勢の沿革ももうち多數に同花板の一時小  
音ももい出る事もも語をやね松文三四日  
内社恩紀すれハ誤諭もて省く也す、内一覧  
社上推敲ちアホト嘗ていつのまゝ所をも  
因ふ云或人け松ももて弱体トハ信家の在

校のくわあくはまの其藩の藩臣の藏板も  
混雜してありハ概して諸藩の書きかげ  
第一よ福山藩の藏板を多く小學叢書注目  
して韓非翼龜呂氏者春秋ハ儒家の私文也行  
されハ刪多く失つて形を備えの意が在  
い刪落もしくすれど既小校ゆく  
傳寫トテ文刪落もしく馳もす小乃  
且そのもト韓非翼龜と著ト左因善高ハ  
僕々紹緝の人かして源小<sup>使</sup>僕家少とも出量成  
揚々雕刻ちくき修も形トガ儒家事放多

くしてその経もすれちよト一己之力  
ふて海字板を催せ三百部と刷リ一冊を  
物語り一冊一風紀一冊一ナリ  
その他本小部を十中少一二をあくけり  
とも多くハ修家よりハ儒店証言の藏小ちよ  
トとの享保の比より文集迷行の部をその表  
序にて雕刻ちくて一時の文學の貢えと  
とすりて時より其藩中よりも世上へ劫りと  
刪落もしくすれど既小校ゆく

諸高時居並板書自著記十二卷とあるといふ  
多くちりびりその外近世名家著述月報六卷を  
著しいものとし書估玉峯堂にて雕刻もと小字  
小字く出来どい

佐一了冀の別紙の諸書述々小有志の人  
修家のくふ行くに既小雕刷小字もとより成  
除きて名有志の書と並板とて學士の碑益  
と贊襄あきかへり僕り婆ひの本堂たゞ

### 經顛

文公易說廿三卷十本宗朱鑑編

- 周易本義通釋十二卷七本元胡炳文撰  
周易本義沿綱纂注十五卷四本元胡一桂撰  
易學啓蒙通釋二卷二本元胡方平撰  
周易本義解傳五卷三本清惠棟撰  
書華傳解錄纂注六卷五本元董鼎撰  
詩童子問十卷五本宋朱鑑撰  
詩傳通釋廿卷八本元劉櫞撰  
詩集傳名物抄八卷八本元許謙撰  
春秋釋例十五卷十五本晉杜預撰

春秋左傳一圖二卷附春秋社年表五代馮籧先

撰

春秋左傳補注十卷三本元趙訪撰

禮記集說補正二十八卷九本清納蘭成德撰

儀禮圖十七卷旁通考一卷八本宋楊復撰

大戴禮記十三卷四本漢戴德撰

大戴禮記補注九卷四本清沈元撰

四書纂疏廿六卷十三本宋趙頤孫撰

四書通旨六卷六本元朱公遷撰

四書通義廿卷十四本元倪士齋撰

四書章句集注附攷四卷一本清吳志忠撰

孝經鄭注一卷附補證一卷孝經鄭氏解輯一本

本

六經正誤六卷四本宋毛氏正撰

九經補韻一卷一本宋楊伯巒撰

鄭志三卷附錄一卷二本魏鄭小曰編

四書白文無卷數四本

五經白文無卷數十一本

宋本影抄信學屬雅十一卷三本  
說文典本三十卷十本漢許慎撰  
古本玉編三十卷三本梁顧野王撰  
古本廣韻五卷五本唐孫綬撰  
于祿字書一卷一本唐顏孫撰  
五音集韻十五卷十本金韓道昭撰  
通叶集覽二卷二本清邵長蘅撰  
古今韻略五卷五本清邵長蘅撰  
經傳釋詞十卷三本清王引之撰

### 文類

八史經籍志之十八卷自漢書藝文志十七卷  
四庫全書總目四卷六本清乾隆中紀昀著撰  
量刻書目十卷補一卷十本清顧倣撰  
古今舊書考一卷一本清姬際恒撰  
唐律疏義三十卷十五本唐李東陽撰李林甫注  
魏鄭玄續律錄二卷元瞿思忠撰  
唐鑑廿四卷五本宋范祖禹撰

藝古錄廿卷四本宋司馬光撰

通鑑綱目五十九卷六十本宋朱熹撰

通鑑言問五卷五本宋王庭麟撰

續通鑑綱目條記廿卷清遠達甫撰

朱子年譜四卷考異四卷附錄二卷一本清王懋

旅櫻

伊洛淵源錄十四卷四本宋朱子撰

自註錄一卷一本宋徐先溥撰

漢唐舊儀二卷漢衛宏撰補遺三卷清皇子永琰

著撰一本

孝亭閣源廿四卷八本明宋端義撰

故荒活民書三卷宋董煟撰補遺三卷明董鷺撰

錄二本

州縣提綱四卷一本宋陳襄撰

書纂錄編一卷一本宋胡志勸撰

存藏一卷一本宋呂本中撰

三事志廿四卷一本元張養浩撰

金石例十卷元濬昂霄撰墓誌錄四卷明王行

撰金石要例一卷隋編文書是一卷清黃宗羲

撰四本清盧見曾編

曰金石三例

石經考一卷一本清萬斯同撰

疏林國史略十二卷清周煌撰

東華錄十六卷十六本清蔣良鑑撰

廣輿古今抄八卷四本清程基撰

朝鮮史略十五卷五本不知撰者

扶桑略記十五本皇朝僧圓內撰

孝義錄無卷數五十本文化中撰

### 子類

賈子新書十卷五本漢賈誼撰

傳子一卷一本晉傅玄撰

顏氏家訓六卷四本隋顏之推撰

影宋本文文中子中說十卷一本隋王通撰宋沈

逸注

蘇氏演義二卷唐蘇鵝鵝撰

葉明書五卷二本五代邱光庭撰

洪範十卷二本宋司馬光撰

迂書一卷一本同上

童蒙訓一卷一本宋呂本中撰

洞天清錄一卷一本宋趙希鵠撰

近思錄十四卷四本宋朱子呂祖澤同撰

崇止錄三卷三本宋胡寅撰

純止錄求三卷三本元胡炳文撰

攷古質錄六卷二本宋葉大慶撰

自警編九卷六本宋趙善濂撰

晁氏儒言一卷晁氏若話一卷二本宋晁況之撰

有公雜言一卷一本宋李邦祐撰

宵藻錄一卷一本宋趙叔同撰

牧民心鑑二卷一本明朱逢吉撰

從政名言一卷一本明胡纘宋撰

閑闥錄十卷四本明程曉撰

帝範四卷一本唐太宗師撰

女訓一卷一本明徐后撰

高德錄十卷十本明陳沂撰

老子道德經放異四卷二本元黃幕撰

周易參同契考異一卷漢符經考異一卷宋朱子

撰一本

孫子一卷周孫武撰吳子一卷周呂后二本

六韜六卷周呂望撰法法一卷周司馬穰苴撰三

本

摺操一卷一本漢蔡邕撰

農書三卷宋陳旉撰蠶書一卷宋秦觀撰一本

耕織篇詩二卷二本清聖祖所撰

硯策四卷宋高似孫撰墨經一卷宋晁公遡之撰一本

編錄二卷清杜云瞻撰補遺二卷後二卷清高士

寄撰六本

造化經編篇一卷一本明趙濂撰

小學白文二卷二本

名物索求一卷明方建撰性理字訓一卷明程若

庸撰歷代索求一卷元陳櫟撰史學提二卷元

黃健善撰合四本曰小四書明朱朴編

三字經一卷一本宋王忬輯撰

唐伯虎畫譜一卷一本明唐寅撰

孔子集解十卷六本清孫星衍撰

續朱熹章四卷四本清陸灝其撰

世说新语六卷六本宋劉義慶撰  
後世说新语十卷五本唐李奩撰  
唐世说新语十三卷三本唐劉肅撰  
文選錦字廿一卷十本明凌迪初撰  
楚辭綺譜六卷三本明張象之撰  
明代選膚十五卷七本清李本緝撰  
方言藻二卷一本清李調元撰  
鹽誥規約一卷一本清施橫撰

集類

李長吉歌詩三卷外集一卷三本唐李賀撰

韋蘋洲集十卷四本唐韋直物撰  
次山集十二卷四本唐元結撰  
李文忠公集十八卷四本唐李翬撰  
皮子文叢十卷三本唐皮日休撰  
韓文廿卷六本唐韓愈撰  
柳文廿卷六本唐柳宗元撰  
白氏長慶集七十卷三十本唐白居易撰  
昆陵集十二卷五本宋蘇軾撰  
杜詩偶評四卷三本清沈德潛撰

韓詩集注十二卷五本清顧嗣立撰

蓬中集一卷一本唐元結撰

河嶽英靈集三卷二本唐殷璠撰

肺覽诗一卷一本唐令狐楚撰

中興感氣集二卷一本唐高仲武撰

極玄集二卷一本唐姚合撰

國秀集三卷一本唐苟挺章撰

才調集十卷五本唐韋莊撰

又玄集二卷一本日上

搜玉小集一卷一本不載撰者

王臺新詠十卷二本陳徐陵撰

唐百家詩選廿卷宋王安石撰

唐人萬首絕句九十一卷十六本宋洪邁撰

宋文文法三十五卷八本宋樓昉撰

声盡集八卷四本宋孫詒遠撰

古文開鍵二卷四本宋呂祖謙撰

唐詩叢妙集一卷一本宋趙師秀撰

文章軌範真本七卷二本宋謝枋得撰

宋高僧詩選前集一卷後集三卷續集一卷一本

宋涑水記編

唐宋子家詩選十二卷四本宋劉克莊編

唐音十五卷元楊士弘編顧籍批註五本

文選公訣一卷元虞集撰文章精義一卷宋李善

卿撰一本

風雅翼十四卷七本元劉履撰

古詩選三十二卷十一本清王楨撰

唐賢三昧集三卷三本日上

唐宋八大家文選本三十卷十六本清沈德潛撰

筆注三體唐詩六卷三本清高士奇撰

新編濂法風雅九卷四本清洪伯行撰

吟窓雜錄五十卷十本元陳應行編

宋十五家詩選十六卷清陳衍編

藏海詩話一卷一本宋吳可撰

放翁詩話一卷一本宋陸游撰

誠齋詩話一卷一本宋楊萬里撰

比外傳も何う一歩とくも僕も聞見もく  
の日本——日本——京の樂堂、周易新解  
義十卷四庫全書提要中著錄すくに付破土  
少て散傳歟——以狀とは如何古雕刻の思古  
有之以由大堂——也ハ八步——其是ハ林天澤

先生佚存叢書中小沈小收載一被土へも  
注之既元々筆經全集中既不提要題  
也由唐人間新既見出一よハ相國中古著  
他佚存叢書目錄ハ顧脩既量刻書目中既  
第二集既載既一卷之余及既  
此序跋既附載既之既覽既

佚存叢書

第一集

宋文孝經孔氏傳一卷五行大義五卷  
吉言蕭正軌二卷唐書要錄三卷唐

備真西京新詒一卷

述韻雜諺百二十首二卷

第二集

文館詞林四卷

政宗許崇子感興詩往來

讀春耕易傳六卷

正宗李氏家求一卷

元  
化  
吳  
龍

第三集

唐才傳十卷文辭賦經集注立卷九味王

第四集

吉本崇求三卷唐李玉堂類稿二十卷

宋崔西垣類稿三卷

宋董

第五集

周易新傳義十卷

宋

第六集

宋晁文公集十卷

宋宋

右ト活字核既文化中出宋本六十本中  
唐以是出ハ我土の人貢つ小漢竹林ハ右咸  
さす後又活字既共七經孟子考文曰括小  
近経跡既了キト著い世の學士文人并  
小活字邊存叢書の書名も知り少く歎哉

其小清室以僕手も海外小全存書之書物十  
三四部不集全以之付送て八編錄可仕ト幸  
有以之付吾澤先生古集多の叢書もほ羨知  
上成多以相手於一申シ

東京林縫之助藏書

